

児童の実態

- 課題に対して意欲的に取り組もうとする。
- 自分の考えを進んで表現しようとする姿が見られる。
- 「聞き方・話し方のステップ表を意識し、聞き方・話し方の基本的な姿勢は身に付いている。
- 自分の考えを言うことはできても、仲間の考えと関わらせながら、どのように深まったり変化したりしたのかを伝える事はできていない。

学校の教育目標

心豊かで たくましい 吉里の子

- ・仲間を思いやり大切にする子
- ・めあてに向かい進んで学ぶ子
- ・ねばり強く鍛え続ける子

【経営の方針】

児童・教師が自分の良さを発揮し、笑顔と思いやりで輝く学校づくり

海津市教育の方針と重点

- ・外国語を通じて、コミュニケーション能力の素地を養う。
- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、学力向上を推進する。

〈願う児童の姿〉

- 低：自分の考えをもち、進んで仲間に伝えようとする児童
- 中：仲間の考えと関わらせながら、自分の考えを伝え合おうとする児童
- 高：自分の考えを伝え合うと共に、仲間との学びの中で深まったり変化したりした考えを自分の言葉で伝える児童

研究主題

進んで自分の考えを伝え合う児童の育成

～「対話的な活動」を中心にして～

研究仮説

- ・自分の考えを伝え合う必然性のある場（言語活動）を工夫したり、仲間の考えを聞いて、自分の考えがどのように変化したのかを自覚し、伝える指導を工夫したりすれば、進んで自分の考えを伝え合い、対話的な学びができる児童に育つであろう。

研究内容

研究内容 1

自分の考えを伝え合う場（対話的な活動）の工夫

- (1) 単位時間と単元の出口での自分の考えを伝える必然性のある場の工夫
 - ・目的・場面・状況の設定
- (2) 仲間の考えを聞いて、自分の考えの変容を自覚し、伝える場や方法の工夫

研究内容 2

「対話的な活動」に対する評価の工夫

- (1) 教師からの評価の工夫
 - 中間 終末
- (2) 児童の評価
 - 自己評価 相互評価

研究を充実させるための手立て

- ・全教科を通した基本的学習姿勢（聞く・話す等）
- ・考えながら話す場の設定（朝の会・帰りの会）
- ・温かな人間関係を育む学級経営
- ・ICTの活用